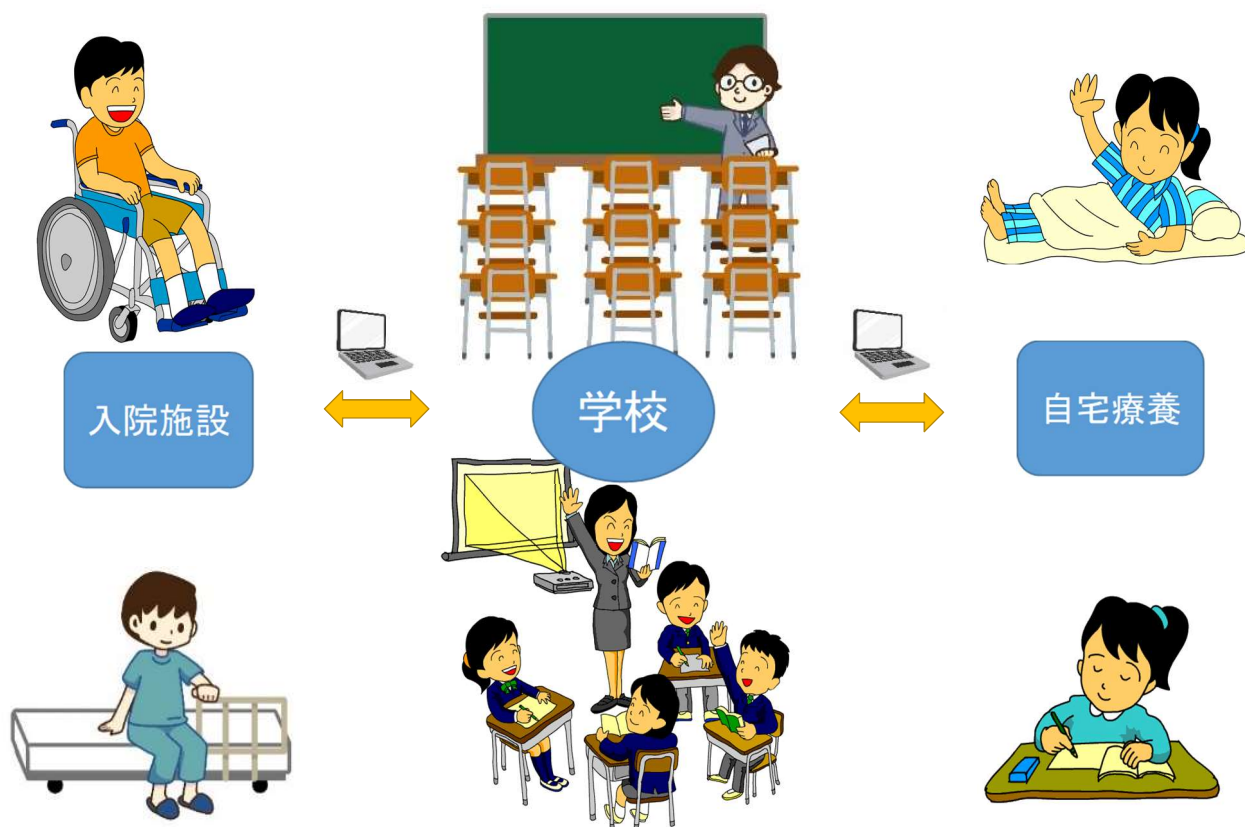




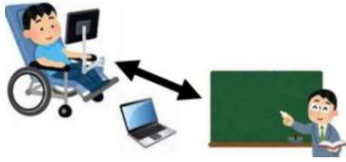
県立高等学校・中等教育学校後期課程に  
在籍する生徒と保護者のみなさんへ

# 入院時等学習支援



令和5年9月

神奈川県教育委員会



## 入院時等学習支援とは

病気やけがで入院や自宅療養（20日以上目安）をしながらも学業継続の意思がある県立学校（高等学校、中等教育学校後期課程）の生徒に学習の機会を確保する仕組みです。

### 目的

病気やけがで入院や自宅療養をしている生徒に寄り添い、生徒一人ひとりの実情に応じて、学習支援を行うことを目的としています。

### 講師派遣型授業

⇒ 先生が病院に来て教えてくれる



### 組み合わせて受講

### ICT機器を活用した遠隔授業

⇒ 入院施設等にいながら、遠隔で学校の授業に参加できる

## 生徒の病状や学習ニーズに沿った学びの継続に向けて

### 講師派遣型授業では、

- 在籍校の教員又は非常勤講師が入院先の病院等に派遣されます。
- 個々の状況に応じた教科・科目の指導を受けることができます。（1日につき2時間、週6時間を上限とします。）



### ICT機器を活用した遠隔授業では、

- 教室と入院施設等をネットワークでつなぐことにより、教室で行われる授業を受けることができます。
- 教室の生徒との話し合いやグループワークなど、多様な学習活動が可能となります。

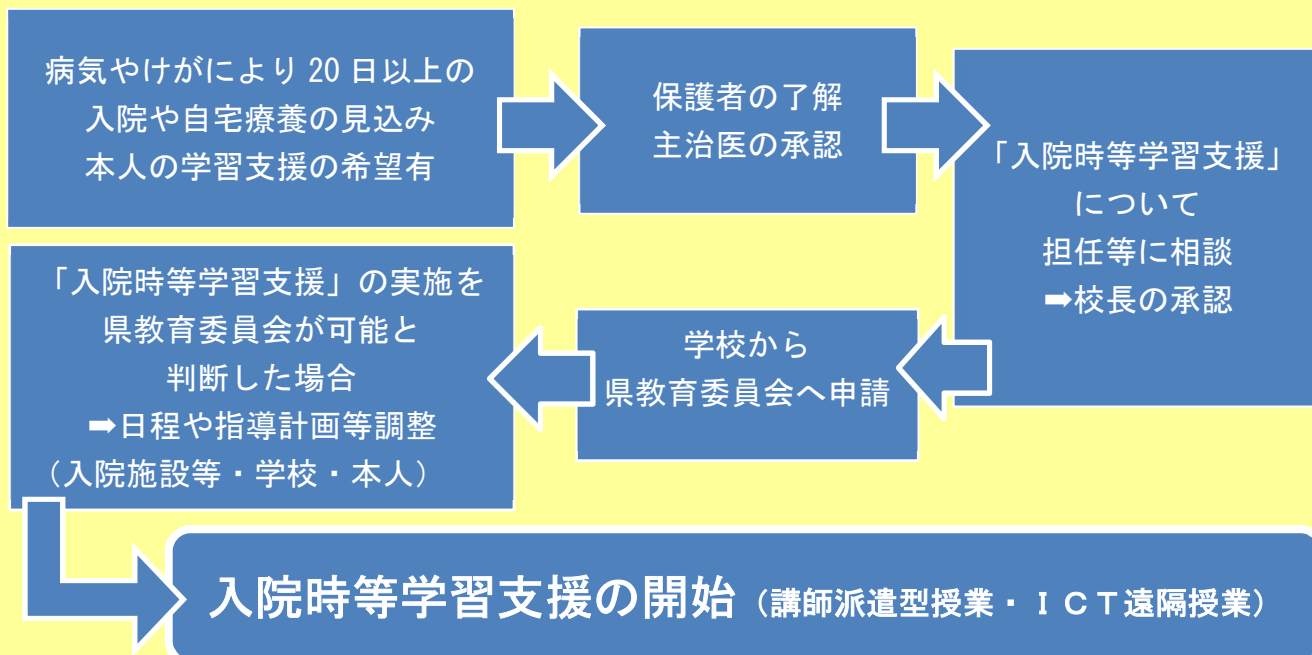


### 自宅療養

### 講師派遣型授業とICT機器を活用した遠隔授業を組み合わせることで

- 病状や学習ニーズに沿った学習支援を受けられます。
- 入院中や自宅療養中でも、生活リズムに応じた学習形態を選択することで、学業継続を実現できます。

## 入院時等学習支援 開始までの流れ



1 年生(次)の学習支援例Ⅰ：1 か月程度で退院する予定なので、学校復帰後の授業につながるよう、色々な科目を受講したい

	月	火	水	木	金
1		英語C I	英語C I		
2	英語C I	現代の国語	歴史総合		現代の国語
3	家庭総合	歴史総合	情報 I		数学 I
4					
5	数学 I	保健	化学基礎	物理基礎	
6	数学A	情報 I	化学基礎	物理基礎	

	遠隔授業
	講師派遣

計 18単位時間

※ 英語C I：英語コミュニケーション I

- 数学 I・数学A・化学基礎・物理基礎は、講師派遣でより丁寧に指導してほしい。
- 他の科目は、病院での生活の中で関われる限り遠隔授業を活用したい。

1 年生(次)の学習支援例Ⅱ：受講できる時間が限られているので、特定の科目を集中的に受講したい

	月	火	水	木	金
1					
2	物理基礎	数学A		英語C I	英語C I
3		英語C I	数学 I		数学 I
4					
5	数学 I		化学基礎	物理基礎	
6	数学A	化学基礎			

	遠隔授業
	講師派遣

計 12単位時間

※ 英語C I：英語コミュニケーション I

- ※ 入院時等学習支援では全ての教科・科目の単位認定を確約するものではありません。実施の状況なども踏まえ、最終的には学校が単位認定や進級・卒業の判断をします。
- ※ 講師派遣の時間は学校の時間割に関わらないので、相談してください。
- ※ 受講科目については、一定期間経過後に見直すことが可能です。

# 入院時等学習支援 Q&A

**Q** 遠隔授業に必要なICT機器は誰が用意するのですか？

**A** 学校に相談してください。学校と教育委員会で調整の上、送信側・受信側双方の機器を設置します。

※ 既に学校に配置されている授業用ICT機材による対応も可能です。

**Q** 遠隔授業に必要なICT機器の利用の際に費用はかかりますか？

**A** ICT機器の利用について、費用は一切かかりません。

**Q** 自己都合により、普段から登校していない生徒に対しても支援は可能ですか？

**A** この学習支援は、病気やけがの加療及びリハビリテーションのために入院や自宅療養を与儀なくされ、長期欠席することになった場合に適用されます。したがって、自己都合により普段から登校していない生徒は、この支援の対象ではありません。

**Q** 遠隔授業の中で、入院中の自分の姿をクラスメイトに見せなくても授業を受けることは可能ですか？

**A** 可能です。事前に、入院中の姿を見られたくないなど、心配事は学校に相談してください。

**Q** 入院中の学習プランはどうやって立てるのですか？

**A** 入院中の学習プランは、本人と学校、医師等が相談しながら作成します。

**Q** 受講した授業の単位認定により進級・卒業することができますか？

**A** この学習支援は単位認定を確約するものではなく、生徒の病状や学習ニーズに沿った学びにより、学習を継続できるようにする制度です。最終的には、実施の状況なども踏まえ、学校が判断します。